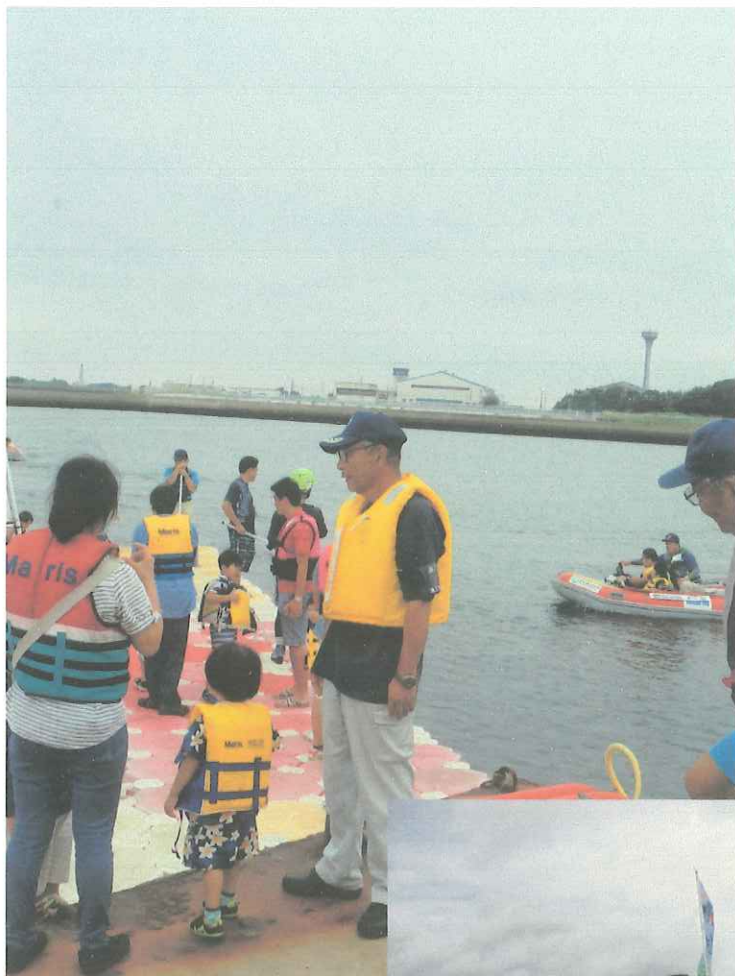


みなと木更津うみ祭り 第8回

平成28年9月18日・19日

海上安全指導員の活動として、毎年恒例になっている「みなと木更津うみ祭り」のイベントに参加しました。大島支部長と林指導員がライフジャケット着用の必要性と、栈橋、浮き栈橋への登り降りの手助け、および見張りを担当しました。海上保安庁より落水時の膨張型のライフジャケットの作動実演、実際に海に落ちた時のライフジャケットのふくらみ状態、救命浮環の投げ込みなどを、午前と午後各1回ずつ行われた。

浮き栈橋利用イベントはキッズボート、デインギー、ヨットモーターボートなど体験乗船、



ヒラメの稚魚放流が行われた。特にキッズボートは自ら操縦体験ができるので好評を得ている。「楽しかった」「ありがとうございます」の言葉が励みになりました。未来の海を愛する人になってほしいと思います。

ヒラメの稚魚放流は「大きくなって帰って来いよ」と毎年声を掛けるがどこまで行くのかわからず、木更津周辺では全く釣れません。

他のイベントはあまり見て回る余裕がなかったがステージではダンスや歌が絶え間なく行われていた。

ハゼ釣り、フライボード実演、物産販売、食事処、国土交通省、海上自衛隊、海上保安庁など関係官庁もブースを出していた。

小雨や風でやや苦戦する時間はあったものの盛況の2日間だった。

海上安全指導員

イベント協力、林 康次

